



舞鶴市立明倫小学校
令和7年10月31日

11月号



実りの季節 心も育つ

明倫緑地の木々も色づき始め、いよいよ秋本番です。

10月11日(土)に開催しました運動会は、天候にも恵まれ、子どもたちは演技・競技・応援に練習で培ってきた自分たちの力を十分に発揮して、大成功させました。保護者の皆様からも、「どの子どもキラキラとした笑顔で、とても楽しそうに演技をしていたのが素敵でした。」「みんなが真剣で成功させようとしているよい雰囲気、とてもよい運動会だったと思います。」等の感想をいただき、大変励みになりました。スポーツは、勝負が大事です。しかし、それだけではありません。全力を尽くして闘った後、声を限りに応援した後、気持ちを一つに演技した後、子どもたちの心にはすがすがしい満足感が広がりました。赤組も白組も、「One Team」になり、心も大きく成長することができた運動会となりました。



心を一つに、感動の演技を見せた5・6年生

また、29日(水)には、マラソン大会を実施しました。雨のため1日延期の実施となりました。運動会が終わった直後から始まった業間休みの「いきいきマラソン」で、10分間、音楽に乗ってグラウンドを周回し、自分のペースで練習に励んできました。本番は、保護者や地域の皆様の応援に支えられ、伊佐津川運動公園のコースを力走しました。運動の得意な子どもばかりではありませんが、あきらめずにやり切れる力が自分にはあること、応援してくれる人たちと一緒に頑張る友達がいることを感じる事ができた実りあるマラソン大会だったと思います。

運動会もマラソン大会も、PTAボランティアの皆様のお力に助けられました。準備や後片付け、走路員等の仕事を手伝ってくださって本当にありがとうございました。また、コロナ禍では考えられなかった大勢の応援に励まされ、子どもたちが活躍しました。子どもを真ん中に、家庭・地域・学校が一体となって育む明倫のあたたかさに、日々感謝しています。



たくさんの応援の声に背中を押され、最後まで走り切ったマラソン大会

秋と言えば、スポーツだけではなく。読書の秋、芸術の秋、学問の秋…。11月に予定されている音楽集会や研究発表会に向けても、また、子どもたちの主体性が育つ場となりよさが発揮できるよう取り組んでまいります。

今月も引き続き、地域、保護者の皆様のご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 岡本 恵理子 教職員一同

